

Ⅲ. 調査結果のポイント

1. 経営状況

現在の経営状況は「変わらない」が58.2%で最も多い。景況DI（「良い」―「悪い」）をみると、兵庫県全体では、昨年度調査の△10.3%から、今回は△7.2%と3.1ポイント好転している。業種別にみると非製造業は14.0ポイント好転、製造業は5.1ポイント悪化。

2. 経営方針

現在の主要事業は「現状維持」との回答が57.6%で最も多く、次いで「強化拡大」（36.0%）、「縮小」（6.0%）、「廃止」（0.4%）と続いており、昨年度調査と比べ「縮小」がやや増加した。

3. 経営上の障害（3項目以内の複数回答）

経営上の障害については、全体では「人材不足（質の不足）」が60.5%で最も多く、次いで「労働力不足（量の不足）」（42.1%）、「原材料・仕入品の高騰」（29.3%）、「販売不振・受注の減少」（26.1%）と続き、質・量ともに人材、労働力不足が経営上の障害となっていることがわかる。

4. 経営上の強み（3項目以内の複数回答）

経営上の強みについては、全体では「顧客への納品・サービスの速さ」（31.4%）が最も多く、次いで「技術力・製品開発力」（28.0%）、「製品の品質・精度の高さ」（27.0%）と続く。「技術力・製品開発力」は昨年度調査の4位から今回は2位へとランクアップした。

5. 従業員の労働時間について

週所定労働時間は「40時間」が51.2%で最も多く、次いで「38時間超40時間未満」（25.4%）、「38時間以下」（13.0%）、「40時間超44時間以下」（10.4%）と続き、昨年度調査と比べ大きな変化はない。

6. 従業員1人当たりの年次有給休暇の平均付与・取得日数・取得率

平均付与日数は全体で15.63日で、昨年より0.39日少なく、全国平均より0.24日多い。
平均取得日数は全体で7.95日で、昨年より0.42日少なく、全国平均より0.34日多い。
取得率は全体で52.35%で、昨年を1.42ポイント下回り、全国平均も0.4ポイント下回った。

7. 新規学卒者の採用について

平成31年3月の新規学卒者の採用または採用計画が「あった」事業所は18.6%で、昨年より4.8ポイント減少した。採用実績事業所数10件以上の種別では、「大学卒：事務系」が採用充足率（76.7%）、平均採用人数（2.06人）ともにトップ。1人当たりの初任給（回答事業所数10件以上）は「大学卒：事務系」が205,073円で最も高い。

8. 中途採用（活動）について

過去3年間で、中途採用を「行った」事業所割合は71.1%。中途採用（活動）を実施した理由としては、「退職者・欠員補充のため」（63.1%）が最も多く、中途採用（活動）を実施した職種としては、「現業・生産職」（61.1%）が最も多い。

9. 年5日の年次有給休暇の取得（付与）義務について

年5日の年次有給休暇の取得（付与）義務の認知状況は、全体では83.9%に達するが、全国平均を2.5ポイント下回った。取得（付与）義務の対応について、事業所で実施している方策は「計画的付与制度（計画年休）を活用する」（32.4%）が最も多い。

10. 賃金改定について

平成31年1月1日から令和元年7月1日間の賃金改定の実施状況は「上げた（7月以降引上げる予定を含む）」事業所が67.3%（昨年度調査比4.2ポイント増）で、昨年度に引き続き増加傾向となっている。「上げた」事業所の改定後の平均所定内賃金は273,684円、引上げ額7,770円、引上げ率は2.92%となっている。